

資料6-28 赤潮発生状況（平成12年1月～12月）

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km ²)	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無(被害整理番号)	情報源
1	1.26-2.22	伊勢湾西部	Eucampia zodiacus Chaetoceros sp.	1.26 楠町から鳥羽市沿岸に発生が見られたが、その後 2.2 木曾岬町から二見町沿岸、2.9 木曾岬町から伊勢市沿岸、2.16 木曾岬町から津市沿岸と発生域が徐々に湾奥方向に偏る傾向が見られた。沖合い側の広がりは未確誌。2.22 終息。	>70	0	E.z. 1,300 C.sp. 2,650	有①	伊勢湾分場
2	3.3	伊勢湾中部	Noctiluca scintillans	3.3 野間沖の伊勢湾中部海域において Noctiluca scintillans による赤潮が確認され、濃いピンク色を呈していた。 水色：明赤橙色 (No.12)	8	0	N.s. 38	無	しらなみ
3	5.15-5.18	熊野灘北部 (尾鷲湾)	Prorocentrum dentatum	5.15 尾鷲湾中央部で1,390cells/ml(10m)、大曾根浦で、4,220cells/ml(5m)、古里で710cells/ml(5m)であったが、5.18 には大曾根浦で950cells/ml(10m)、古里で370cells/ml(10m)に減少した。	不明	5-10	P.d. 4,420	無	尾鷲分場
4	5.23	伊勢湾南西部	Noctiluca scintillans	5.23 香良洲町から二見町の沖合にて確認され、一部は海岸に漂着した。伊勢市村松沖の細胞数は2,400cells/mlであった。	不明	0	N.s. 2,400	無	鳥羽市海上保安部 伊勢湾分場
5	5.23	志摩度会 (奈屋浦)	Heterosigma akashiwo	5.23 南島町奈屋浦で発生が確認され、漁港内1m層の細胞密度は57,940cells/mlであった。	不明	1	H.a. 57,940	無	くまの灘漁協水技センター
6	6.8	伊勢湾西部	Noctiluca scintillans	6.8 津市沖約9kmにおいて、幅20～100m、長さ約9kmの帯状着色水域が観察された。	不明	0	不明	無	四日市海上保安部
7	6.14	志摩度会 (阿曾浦)	Prorocentrum dentatum	6月上旬から南島町阿曾浦で着色水域がみられ、6.14 大方電2m層の細胞密度は35,800cells/ml、5m層は360cells/mlであった。	不明	2	P.d. 35,800	無	くまの灘漁協水技センター
8	6.14-6.15	志摩度会 (英虞湾・五ヶ所湾)	Noctiluca scintillans	英虞湾口付近および五ヶ所湾口付近で着色水域がみられた。御座沖、表層の細胞数は3,500cells/mlであった。	不明	0	N.s. 3,500	無	くまの灘漁協水技センター
9	6.22-7.19	熊野灘北部 (尾鷲湾)	Cochlodinium polykrikoides	6.22 尾鷲湾で着色水域がみられ、古里、2mの細胞数は730cells/mlであった。6.25 湾中央、2mでは380cells/mlであった。その後、一旦減少したが、7月中旬に再度増加し、大曾根浦、2mの細胞数は1,000cells/mlであった。7月下旬には減少した。	不明	2	C.p. 1,000	無	尾鷲分場
10	6.27-7.19	熊野灘北部 (引本湾・尾鷲湾)	Prorocentrum dentatum	6.27に引本湾で着色水域が確認され、2mの細胞数は29,300cells/mlであった。その後、一旦減少したが、7月中旬に引本湾、尾鷲湾で再度増加した。矢口浦、2mの細胞数は38,100cells/mlであった。	不明	2	P.d. 38,100	無	尾鷲分場
11	6.29-7.12	志摩度会 (五ヶ所湾)	Heterocapsa circularisquama	6月下旬から遊泳細胞が確認され、湾西部で細胞数が増加した。6.29 迫間浦表層の細胞数は350cells/mlであった。その後、アクチ浦、2mで最高細胞数416cells/mlを記録した。7月中旬には細胞数は減少した。	不明	0	H.c. 416	無	南勢町種苗センター 水技センター
12	7.3-9.29	志摩度会 (英虞湾)	Heterocapsa circularisquama	7月になって英虞湾の各地で増加した。広範囲で1,000cells/ml以上となり、7.6 神明、5mでは3,600cells/mlとなった。7月下旬には一旦減少したが、8、9月にも湾奥測点で100cells/ml以上、まれに1,000cells/ml以上の出現が確認された。	不明	5	H.c. 3,600	無	英虞湾内真珠組合 水技センター
13	7.5-7.11	伊勢湾北部	Skeletonema costatum 小型鞭毛藻	7.5 小鈴谷以北の伊勢湾北部海域において、Skeletonema costatumと小型鞭毛藻類が混在した赤潮が確認され、7.11 まで継続した。 水色：暗黄色(No.33)	>71	0	S.c. 53,200 小型鞭毛藻 3,800	無	しらなみ
14	7.24-8.21	志摩度会 (五ヶ所湾)	Gymnodinium mikimotoi	7月下旬に五ヶ所湾西部(迫間浦)で急速に増加した。7.27 迫間浦奥の表層では140,000cells/mlに達した。8.1には迫間浦の密度は減少したが、湾東部でも発生がみられた。8月に入ってからは、湾の各地で散発的に赤潮となり、8.21にピークとなったのち、急速に減少した。	不明	0	G.m. 140,000	有② ⑩ ⑪	くまの灘漁協 南勢町種苗センター 南勢志摩県民局 水技センター
15	7.28-8.23	熊野灘北部 (引本湾・尾鷲湾)	Gymnodinium mikimotoi	7月末に引本湾奥で赤潮が確認され、7.28の2m層の細胞数は56,000cells/mlであった。その後、引本湾では散発的な赤潮が8月中旬まで継続した。尾鷲湾では8.20頃、一時的に細胞数が増加した。	不明	2	G.m. 56,000	有③ ⑤	尾鷲分場 紀北県民局

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積(km ²)	発生水深(m)	最高細胞数(cells/ml)	漁業被害の有無(被害整理番号)	情報源
16	7.31-9.7	志摩度会(道方浦)	Heterocapsa circularisquama	6月中旬から100cells/ml以下の出現が確認されていたが、7.31に5m層で200cells/mlとなった。8.17に100cells/ml以下に減少したが、その後も遊泳細胞は確認され、9.7に再び100cells/mlとなった。	不明	5	H.c. 200	無	くまの灘漁協水技センター
17	8.10-8.31	志摩度会(阿曾浦・道方浦)	Gymnodinium mikimotoi	南島町阿曾浦、道方浦で7月末から遊泳細胞が確認され、8.21、3mで6,800cells/mlとなったがその後減少した。	不明	3	G.m. 6,800	無	南島町種苗センター 南勢志摩県民局
18	8.14-8.21	志摩度会(方座浦)	Gymnodinium mikimotoi	南島町方座浦湾奥で8月中旬に赤潮が確認された。8.17 表層の細胞数は12,000cells/mlであった。	不明	0	G.m. 12,000	有④	南島町種苗センター くまの灘漁協 南勢志摩県民局 水技センター
19	8.17	志摩度会(方座浦)	Heterocapsa circularisquama	南島町方座浦で発生し、8.17 表層の細胞数は1,100cells/mlであった。8.21には100cells/ml以下となった。	不明	0	H.c 1,100	無	南島町種苗センター 水技センター
20	8.18-8.20	熊野灘北部(紀勢町錦)	Gymnodinium mikimotoi	紀勢町錦で8月中旬に赤潮が確認された。8.18 表層の細胞数は103,500cells/mlであった。	不明	0	G.m. 103,500	有⑦	南勢志摩県民局 水技センター
21	8.18-8.22	志摩度会(古和浦)	Gymnodinium mikimotoi	南島町古和浦で7月末から遊泳細胞が確認され、8.20頃、表層で10,000cells/ml以上の赤潮となった。8.18漁港内の表層で84,000cells/mlに達した。	不明	0	G.m. 84,000	有⑥	南島町種苗センター 南勢志摩県民局 水技センター
22	8.20-8.21	志摩度会(奈屋浦)	Gymnodinium mikimotoi	南島町奈屋浦漁港付近で8.20から8.21頃着色域がみられた。	不明	0	不明	有⑧	くまの灘漁協 南勢志摩県民局
23	8.21-8.28	志摩度会(英虞湾)	Gymnodinium mikimotoi	7月末から遊泳細胞数が確認され、その後徐々に増加した。パッチ状の赤潮を形成し、8.25、3mでは5,280cells/mlとなった。	不明	5	G.m. 5,280	無	英虞湾内真珠組合 水技センター
24	8.21-8.22	志摩度会(神前浦)	Gymnodinium mikimotoi	南島町神前浦でパッチ状の赤潮が確認された。	不明	0	不明	有⑨	くまの灘漁協 南勢志摩県民局
25	9.2-9.4	伊勢湾北東部	Skeletonema costatum	9.2 大野から小鈴谷にかけての伊勢湾北東部沿岸域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が発生しているのが確認され、9.4まで継続した。 水色：暗黄緑色(No.42)	>36	0	S.c. 30,450	無	しらなみ 知多事務所
26	9.4	伊勢湾北部	Gymnodinium sanguineum	9.4 常滑沖の伊勢湾北部海域において <i>Gymnodinium sanguineum</i> による赤潮が確認された。 水色：暗黄色(No.33)	0.3	0-5	G.s. 1,700	無	しらなみ
27	9.19-10.17	伊勢湾全域	Skeletonema costatum Thalassiosira sp.	9.19 常滑と吉崎を結ぶ線より南の伊勢湾のほぼ全域において <i>Skeletonema costatum</i> , <i>Thalassiosira sp.</i> による珪藻複合赤潮が確認された。9.20 松阪市から鳥羽市にかけての湾南西部に濃密な水域がみられ、東大淀での細胞密度は <i>S.costatum</i> 99,000cells/ml、 <i>Thalassiosira sp.</i> 19,800cells/mlであった。湾西部では、9.27 観測時には赤潮は確認されなかった。湾東部では、10月に入ると <i>S.costatum</i> の単独赤潮となり、10.17 まで継続した。 水色：暗黄色(No.33)	1,040	0-5	S.c. 99,000 T.sp. 19,800	無	しらなみ 知多市新所 あさま丸
28	10.12	志摩度会(英虞湾)	Heterosigma akashiwo	英虞湾の鶴方浜周辺でパッチ状の赤潮が確認された。	不明	0	H.a. 30,000	無	阿児町役場 水技センター
29	11.22-11.24	志摩度会(英虞湾)	Heterosigma akashiwo	英虞湾の立神浦周辺で着色域が確認され、最高細胞数は11.22、2m層の2,575cells/mlであった。	不明	2	H.a. 2,575	無	水技センター
30	11.29	志摩度会(五ヶ所湾)	Heterosigma akashiwo	五ヶ所湾の神津佐付近で小規模な着色域が見られた。	不明	不明	不明	無	南勢町種苗センター